

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府営堺若松台2丁目第1期高層住居	階数	地上14F
建設地	大阪府堺市南区若松台2丁目	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	679人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2014年3月1日
敷地面積	5,086 m ²	作成者	今井 武志
建築面積	1,368 m ²	確認日	2014年4月1日
延床面積	11,768 m ²	確認者	今井 武志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (40 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 71% (28.4 kg-CO₂/年・m²)

③上記②以外の 71% (28.4 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 71% (28.4 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・ 景観を含めた周辺環境との調和と連続性を考慮。 ・ 地域に解放されたオープンスペース(コミュニティエリア等)と豊かな緑地を設け、周辺地域を含めた環境の改善と、防災に配慮した計画。 ・ 団地内は歩車分離、バリアフリー等、高齢者・障害者に配慮した計画。	その他	
Q1 室内環境 ・ 化学物質の濃度測定を行ない、厚労省の指針以下であることの結果を府に報告することを義務付けている。	Q2 サービス性能 ・ バリアフリー新法の基準を満たしており、また内外装において維持管理に配慮した設計となっている。	Q3 室外環境(敷地内) ・ 中高木の植栽による日陰形成、緑地確保による地表面温度上昇の抑制で敷地内の暑熱環境の緩和に努めている。
LR1 エネルギー ・ 住居給湯器(個別熱源)に潜熱回収型給湯器を使用している。	LR2 資源・マテリアル ・ 節水型便器を使用している。 ・ 仕上げ材(内装パネル)と躯体が容易に分別可能である。	LR3 敷地外環境 ・ 敷地外の建物や住民に対して、光害や廃棄物の影響がないよう設計している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	大阪府営堺若松台2丁第1期高層住宅	BEE	BEEランク
	建設地	堺市南区若松台2丁	1.1	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 11,768.40 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.1	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	